



## ご使用の前に安全のため必ずお読みください

1. 本装置は、汎用（ユニバーサル）型年少者用補助乗車装置です。本装置は安全規格（UN ECE R44/04）に適合しておりますが、一部の車両にはお取り付け出来ません。
2. 本装置は、3点式巻き取り機能付シートベルトを装備している車両にのみ使用できます。
3. ご不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

## 使用できる車両座席ベルトの種類

ベルトの種類	ベルトの特徴
ELR(緊急ロック式巻き取り機能)付3点式シートベルト	通常はベルトが自由に入出し、衝撃を感知した時だけベルトがロックされます。
ALR(自動ロック式巻き取り機能)付3点式シートベルト	ベルトを引き出す途中で止めるとロックされ、それ以上引き出せません。

## 本装置をご使用いただけるお子様の目安

体格差によって異なりますので目安として参照してください。

グループ II,III

適応体重 15kg 以上 36kg 以下

●年齢の目安：3 歳頃 ～ 11 歳頃

●身長目安：95 ～ 138cm 以下

**補足** 本装置を使用する際には、お子様の頭頂部が車両シートの背もたれから出ないようにご注意ください。

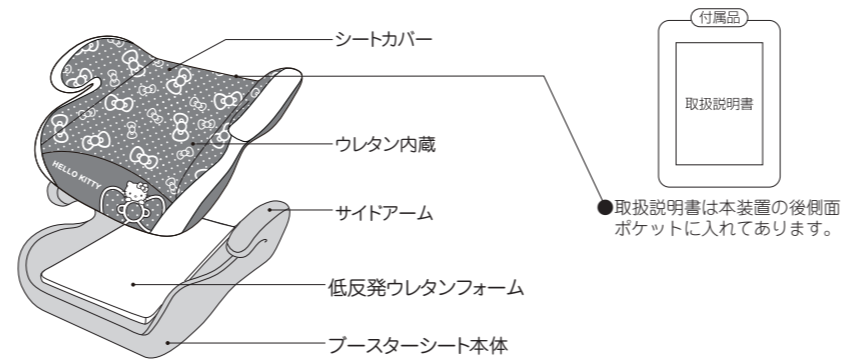
## 本書を読んでいただくためのポイントマークについて

★ポイントマークは安全に関する内容ですので、必ず守っていただき本装置をご使用ください。

<b>警告</b>	<b>注意</b>	<b>補足</b>
事故につながったり、生命の危険・重大な傷害のおそれがあることを記載しています。	安全のため、ご注意ください。記載していることを記載しています。	より安全・快適にご使用していただく上で、知っておいただきたいことを記載しています。

※シートを傷めるおそれがあるため、**本革シートの車両**はそのまま取り付けしないでください。取り付ける場合は、保護シート等を敷いてからお取り付けください。（別売）

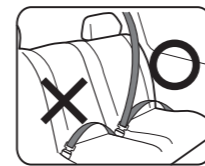
## 構成部品及び各部の名称



## ご使用できない車両と座席

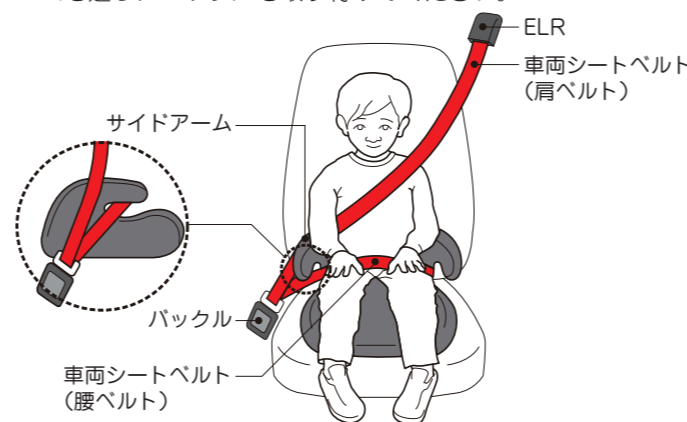
### 警告

- 車両シートベルトのついていない座席
- 2点式シートベルトの座席（右図参照）
- パッシュシートベルト（自動式ベルト装置）や腰ベルト側に ELR が付いた座席
- エアバッグが装備されている座席（SRS サイドエアバッグの場合には使用可）
- 進行方向に対し、後ろ向き・横向きの座席
- 運転に障害となる座席（前席・後席）の中央座席
- スポーツタイプなどの極端に座面が湾曲している不安定な座席
- 奥行き 40cm 以下の座席
- 可倒式シートの場合、極端に寝かせた状態での使用（右図参照）
- 1BOX 車・ミニバンなどの乗降口側の補助席及び後部補助席



## ご使用方法

- ジュニアシートは車両の後席で進行方向に対して前向きでご使用ください。
- 腰ベルトは必ずサイドアームを通し、バックルを取り付けてください。



### 警告

- 車両シートベルトを必ず利用してご使用ください。
- 車両シートベルトの肩ベルトがお子様の首に掛らないようにしてください。

## 設置完了の確認と注意

- ジュニアシートの後部と車両シートの背もたれが接している事。
- 車両シートベルトのねじれやたるみがない事。
- お子様の背中が車両シートの背もたれと接するように深く腰かけ、車両シートベルトが腰骨の位置にくるように正しくセットしてください。（左下図参照）
- 肩ベルトが極端に首に接していないが、又は肩より下の腕に接していないが確認してください。肩ベルトが正しくセット出来ない時は、使用しないでください。
- 車両シートベルトが両側のサイドアームの内側に通っているか確認してください。
- 車両側のバックルに金具が正しくセットされているか確認してください。（カチッと音がしますので確認してください。）

## お手入れ方法

- シートカバーが汚れた場合は、中性洗剤で汚れた部分のみを手洗いしてください。
- シートカバーはウレタンフォームを内蔵しており、一度水分を含むと完全に乾くまで時間がかかります。手洗いの後は、出来る限り時間をかけて自然乾燥させてください。

**補足** 丸洗い、洗濯機・脱水機・乾燥機等のご使用は、ウレタンフォームが壊れる可能性がある為、ご遠慮ください。☹️☹️☹️☹️☹️ 樹脂部分が汚れた場合は掃除機などでごみを取り、濡れタオルなどで拭き取って下さい。シンナー・ベンジン等は使用しないでください。

## お客様へのお願い

- 本装置は自動車事故などの際に、お子様を衝撃から守ったり、衝撃を緩和する事を目的に開発された年少者用補助乗車装置です。ただし、自動車事故などにおいて、必ずしもお子様を無傷で守り出す事が出来るわけではありません。必ず説明書をお読み頂き、安全運転をお願い申し上げます。

## 緊急時には

- 衝突事故などの緊急時には、あわてずに以下の手順にて対応してください。

- ①車両のバックルボタンを押して車両シートベルトのロックを解除する。
- ②お子様にかかっている車両シートベルトを取り外し、お子様を本装置から降ろす。
- ③車外の状態を確認した後、安全な場所へ避難する。

**補足** 車両シートベルトが外れない場合は、車両シートベルトを切断してお子様を救出してください。✂️

### 警告

- ご利用出来る条件に合わないお子様のご使用、取付不可の座席でのご利用、又はご利用上の注意事項を厳守して頂けない場合、生命の危険や重大な傷害が生じる可能性があります。
- 運転中の取り付け・取り外しは、絶対にしないでください。

### 補足

- 品質向上の為、予告なく仕様を一部変更する場合がありますのでご了承ください。
- 本書に記載しているイラストは、わかりやすくする為に現物と多少異なる場合があります。

### 注意

1. 本装置は車両専用ですので、車両以外での使用はしないでください。
2. 本装置を使用する際、可動式シートや車両のドアに挟まれないように注意してください。
3. 衝突事故や本装置を落下させたなど一度でも強い衝撃を受けた場合は、外観上の破損がなくても絶対に使用しないでください。
4. 本装置の改造や分解は絶対にしないでください。又、カバーを取って使用したり指定以外のカバーでの使用はしないでください。
5. 取扱説明書以外の取付方法は危険です。指定された取付方法で確実に行ってください。
6. 夏など暑い日の車両は高温になり樹脂部が熱くなります。お子様を乗せる際には、本装置が熱くないか触って確認してからご使用ください。又、駐車の際は日陰に止めるか本装置にタオルなどをかけ、直射日光を避けるよう注意してください。
7. お子様が車内にいる時は必ず保護者の方が付き添ってください。決して車両に置きざりにしないでください。
8. お子様の本装置に座っていない時でも安全のため車両シートベルトで固定してください。衝突時や急ブレーキをかけた時、本装置が移動してケガをする恐れがあります。
9. 衝突の際に傷害を与える可能性のあるものは放置しないでください。（衝突時、荷物が移動し危険です。）
10. 本装置の上に立ったり、踏み台には使用しないでください。